

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり9.35人と、3週続けて増加しています。

感染性胃腸炎は、例年12月が流行のピークとなる傾向にあり、注意が必要です。

この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによるもので、感染予防には、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などが重要です。(次頁参照)

2. インフルエンザ

2人(定点当たり0.06人)報告されています。

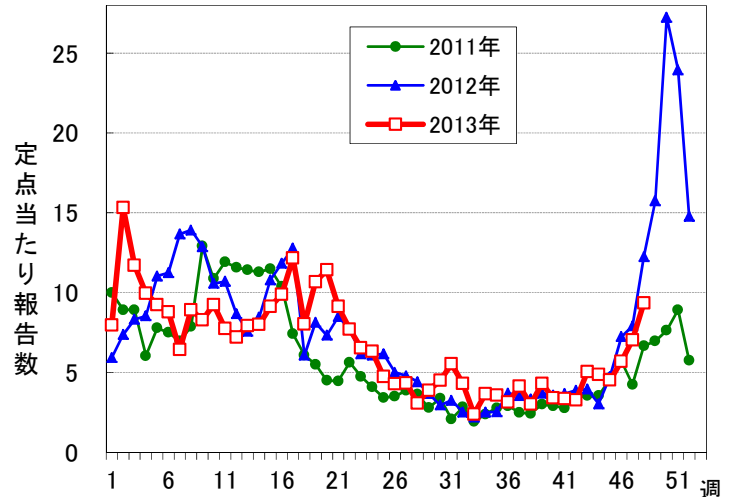
(迅速診断キット:いずれもA型陽性)

寒い日が続いていますので、健康管理に注意し、外出後の手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

3. 水痘

定点当たり2.04人と増加しています。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	2	0.06	8.49		流行性耳下腺炎	12	0.52	0.57	
咽頭結膜熱	26	1.13	0.26	→	RSウイルス感染症	18	0.78	1.21	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.22	1.25	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
感染性胃腸炎	215	9.35	9.77	→	流行性角結膜炎	3	0.38	0.68	
水痘	47	2.04	2.19	→	細菌性髄膜炎	-	-	-	
手足口病	4	0.17	0.20		無菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.13		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
突発性発しん	7	0.30	0.58		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
百日咳	-	-	0.23		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.09	0.01						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	175	男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	A型肝炎	1	11	女性(70歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	22	男性(20歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイル ス)	感染性 胃腸炎
報告 数	広島市	第44週	1	17	28	112	22	8	-	10	-	2	8	19	-	8	-	-	2	-	1	
		第45週	1	21	10	104	13	5	-	15	-	-	9	13	-	1	1	1	2	-	-	
		第46週	-	34	29	131	22	5	-	10	-	2	16	14	-	7	-	4	-	-	-	
		第47週	2	25	24	162	28	1	-	15	-	3	9	17	-	6	-	2	1	-	-	
		第48週	2	26	28	215	47	4	1	7	-	2	12	18	-	3	-	-	-	-	-	
定 点 当 た り	広島市	第44週	0.03	0.74	1.22	4.87	0.96	0.35	-	0.43	-	0.09	0.35	0.83	-	1.00	-	-	0.29	-	0.14	
		第45週	0.03	0.91	0.43	4.52	0.57	0.22	-	0.65	-	-	0.39	0.57	-	0.13	0.14	0.14	0.29	-	-	
		第46週	-	1.48	1.26	5.70	0.96	0.22	-	0.43	-	0.09	0.70	0.61	-	0.88	-	0.57	-	-	-	
		第47週	0.06	1.09	1.04	7.04	1.22	0.04	-	0.65	-	0.13	0.39	0.74	-	0.75	-	0.29	0.14	-	-	
		第48週	0.06	1.13	1.22	9.35	2.04	0.17	0.04	0.30	-	0.09	0.52	0.78	-	0.38	-	-	-	-	-	
	全国	第46週	0.14	0.42	1.36	5.74	1.05	0.68	0.06	0.55	0.01	0.08	0.25	1.28	0.02	0.56	0.02	0.05	0.39	0.04	0.01	
		第47週	0.27	0.46	1.49	6.72	1.15	0.64	0.06	0.49	0.01	0.07	0.22	1.30	0.01	0.61	0.02	0.04	0.45	0.03	0.03	

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(39.1) 下痢 腹痛	12	男	2013/10/22	糞便	サボウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 腹痛	11	女	2013/10/23	糞便	サボウイルス
咽頭結膜熱	発熱(38.3) 上気道炎 熱性痙攣	5	男	2013/10/15	咽頭拭い液	エンテロウイルス68型 アデノウイルス3型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎	7	男	2013/10/18	髄液	エコーウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など) 手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆食品の十分な加熱

ノロウイルスが含まれている可能性のある食品は、中心部まで十分加熱(85~90℃で90秒間以上)しましょう。

◆調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「感染症トピックス/ノロウイルスによる感染性胃腸炎」をご覧ください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1265934252697/index.html>

★世界エイズデー「レッドリボンキャンペーンin広島」(12/7 アリスガーデン)を開催します!

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1193275461263/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第48週(11月25日~12月1日)